広報かじき

No.306
昭和55年 7月号

発行 加治木町
編集 総務課
印刷 (有)吉屋印刷

覚えておきたい人工呼吸法

いよいよ夏本番!!ここ加治木幼稚園では、万が一に備えて七月五日人工呼吸法の実技実習を行いました。

◆人口22,306(＋84) 男10,656(＋44) 女11,650(＋40) 世帯数 7,321(＋25) 55.6.1現在 (　) 前月比

町発展のため貢献された243人を表彰

町総合表彰式

昭和五十四年度本町総合表彰式は、五月三十日、町福祉センターで行われ町行政面等に貢献された方々二四三人を表彰しました。

受賞者は本町教育振興に尽された方や、町の納税関係に協力くださった納税組合長さんをはじめ納税組合、町内商工業発展に尽された優良従業員、それに農林業振興面等に活躍され優秀な成績をあげられた方々二四三人でした。

式では、東町長のあいさつのあと審査報告があり表彰状や感謝状が贈られた。来賓祝辞では、加治木税務署長や、財務事務所長、溝口県議会議員、山崎町議会議長等が「それぞれの部門で活躍され、町発展のため貢献された二四三人の皆さん、心から敬意と感謝を申し上げます」とお祝いのことばを述べました。これに答え受賞者を代表して岩崎昭夫さんが「本日、このような盛大な席に栄ある表彰状をいただき、まことに感謝にたえません。私たちは、本日を契機に一層精進して町政発展のため貢献したい」とお礼のことばを述べました。

表彰を受ける納税組合長さんたち

各部門ごとの主な表彰者は次のとおりです。

本町の教育振興に寄与

岩崎昭夫（本町）町教育委員並びに就学指導委員として貢献
猪俣島（毛上）小学校教諭として貢献
口之町正信（鹿児島市）中学校教諭として貢献

納税組合長として貢献

日高為夫（反土黒川）神ノ下一雄（下新道）竹内千代子（今町）小浜正男（今町）浜田兼春（岩原東）中元和子（岩原西）坂本絹子（豊町）山元吉之助（里ノ上）梅木平次（中野）

町内事業所優良従業員

木村芳子（吉屋印刷所、岩原西）野間孝明（同、中福良東）南薗トミ子（クロバー洋装店、内原田）小山ハル子（同、柳田）古賀上ェイ子（ねずみやまるはん食堂、下浜）山下征子（酒匂石油店、姶良町）湯浅静子（村田商店、下浜）四元喜代子（川井田金物店、竹下）川床侃（マツオ種苗㈱、提水流）神田久志（横山酒店、中野）

増え続ける少年非行

戦後最高 昨年は少年一、〇〇〇人当たり 一四・五人が補導されました。

子どもたちが、心身ともに健康でたくましく育ってほしいと思うのは、すべての親の願いです。

ところが、こうした親の気持ちとは裏腹に、年々少年非行が増え続けています。

昭和五十四年の、成人も含めた全刑法犯三十六万八千人のうち、その四割に相当する十四万三千人が、十四歳以上二十歳未満の少年という憂うべき状態となっています。これは、少年千人に対し十四・五人が補導された勘定になり、戦後最高の記録です。

一方、数の面ばかりでなく内容においても、ごく普通の家庭の少年による非行が増え、低年齢化に一層拍車がかかるとともに、年少少年による殺人事件の多発、暴走族少年による凶悪、粗暴事件犯の増加のほか、中学、高校生による校内暴力事犯が激増するなど、新たな問題をはらんでいます。

夏休みは、子どもたちの生活のリズムが乱れ、気持ちもゆるみがちで、親の目も届きにくくなります。楽しい夏休みが、一転〝非行の季節〟にならないように気をつけたいものです。

非行防止は 対話のある 家庭づくりから

子どもにとって家庭とは「安らぎのある楽しい場」でなくてはなりません。

そのためには、まず何をおいても、親と子の対話が必要です。といって、対話のある望ましい親子関係は一朝一夕にできるものではありません。ふだんの積み重ねこそ大切です。

子どもは、家庭の中での自分の役割を常に求めています。

子どもを一人の人間として尊重し、社会生活への適応を上手にリードしてあげながら、常に子どもと一緒に歩もうとする親の態度こそ、子どもを非行から守る上で一番大切なことではないでしょうか。

本年十月一日は国勢調査

国勢調査のはなし ①

昭和五十五年―ことしの十月一日には、全国いっせいに国勢調査が行われます。

国勢調査は、国内に住んでいるすべての方を対象とした国の最も基本的で大規模な統計調査です。

大正九年「文明国への仲間入り」を合言葉に初めて実施されて以来五年ごとに行われ、ことしの調査は十三回目に当たります。

全国で約七十五万人、加治木町では百四十九人の調査員が調査票を全世帯に配布し、ご記入を願う―というこの国をあげての一大統計調査によって、人口や世帯数はもちろん、年齢別・配偶者別・産業別・職業別にみた人口構成や世帯構成なども明らかにされます。

その結果は、都道府県や市町村別にまとめられ、行政をはじめ広い分野にわたって活用されます。

今月から三回にわたって、国勢調査にまつわる身近なお話をご紹介します。

町固定資産評価審査委員三人を任命

右から美坂、増田、向江さん

町では、六月二十八日付で町固定資産評価委員会委員三人を任命しました。

固定資産評価審査委員会は、町固定資産税の課税評価等について適正か、又、公平な処理がなされているか等、中立的な立場で審査決定する機関であります。

任命された委員はつぎのとおりです。

増田　繁（楠　園）
美坂猪三郎（西　町）
向江敬三（菖蒲谷下）

国と郷土を考える

「ふだん…」とはどのくらい？

調査は「常住地方式」で

「日ごろ」とか「いつも」という意味で、わたしたちは「ふだん」という言葉をよく使います。

「ふだんよく行く店」とか、「ふだん思っていること」などというふうに――。

ところで、十月一日に行われる国勢調査は、「ふだん住んでいる場所」で行うことが決められています。この場合の「ふだん」とはどのくらいの期間をいうのか、これが今回のお話です。

大正九年に始まった国勢調査ですが、昭和二十二年の臨時調査までは、その人が「十月一日午前零時」にいたその場所を現在地として調べていました。

これだと、たまたま旅行していたり、出張していたりする場合は、旅行先や出張先の市なら市、町なら町の人口として数えられてしまいます。

しかし、国勢調査の結果は、地方議会の議員定数の決定や地方交付税の算定に用いられるほか、地方自治体が行政を進めていくための資料に使われるものです。

そのためには、たまたま旅行中だった人をその旅行先であるA市の人口に数えるよりは、その人がふだん住んでいるB市の人口として数えるほうが妥当なことはいうまでもありません。

こうしたことから、昭和二十五年の調査のときに、それまでの「現在地方式」を改めて、その人がふだん住んでいる場所で調査する「常住地方式」に切り替えられました。

――さて「ふだん」とは、どのくらいの期間をいうのか、ということですが、国勢調査の場合は、

〈十月一日現在すでに三か月以上住んでいるか、十月一日前後を通じて三か月以上にわたって住むことになっている所〉

を「ふだん住んでいる場所」と決めています。

これは、公職選挙法で選挙権が得られる資格要件の一つ「三か月以上」に合わせたものです。

とはいえ、三か月という期間は、季節の区切り、春夏秋冬の一シーズンであり、また「辛抱は三日・三月・三年」といわれるように、わたしたち日本人の暮らしのリズムでもあるようです。

町国民年金協議会総会

二組織と三人を表彰

昭和五十五年度本町国民年金協議会の総会が六月三十日、町福祉センターホールに於いて、組織長や役員百四十二名と県国民年金課長、町長等が出席して盛大に行われ、二組織と個人三人を表彰しました。

総会では、昭和五十四年度事業経過報告並びに決算承認、昭和五十五年度事業計画や予算及び規約貸付け規則の一部改正等が決定されました。

役員改選では、会長高田精二、副会長村下久信、岡山秀樹氏が留任となり、理事は、それぞれ新任留任二十二人が選ばれました。

なお、本会に於いて納付組織の地久里、下嶽納付組織と個人の部で里上の山元吉之助、竹下の中摩登美、空港団地の廣川かつ美さん三人を表彰しました。

子供 水の犠牲者

交通事故のほぼ二倍

六月～八月とくにご注意を

いよいよ水のシーズンがやってきました。毎年この時期を迎えると、子供の水の事故が増えはじめ夏休みを含む六～八月の三か月間は、一年のうちでも水による犠牲者が最も多い時期です。

昨年の例を見てみましょう。

六～八月中に、海や川、池、あるいは用水堀などで亡くなったり行方不明になった子供（中学生以下）は、全国で五百十人を数えています。

わが加治木警察署管内でも三名が水の犠牲となっています。

同じ時期に交通事故で亡くなった子供二百七十六人に比べますとほぼ二倍の犠牲者が出ているのです。

年齢別に見てみますと、五百十人の犠牲者の半数、二百五十五人が就学前の幼児です。このうち八割近い二百三人が用水堀や海、川池などに「転落して」亡くなっています。

小学生の場合は、百九十七人のうち、水泳中や魚をとって遊んでいる間に「深みにはまって」しまったケースが最も多く、八十一人。次いで、通行中や水遊び中の「転落」が四十七人となっています。

中学生では、五十八人のうち約半数が水泳中に「深みにはまった」り、「波にさらわれて」亡くなっています。

このような水の事故の約七割が保護者（同伴者）がそばにいないときに起きています。

この時期はとくに水遊びをすることが多いので、ふだんから子供の遊び場所を知っておき、危険な場所には子供たちだけで行かせないようにするなど、保護者の配慮が必要です。

そのほか、子供を水の事故から守るため、とくに次のような点に注意しましょう。

▽家の近くに、ため池や用水堀などが、危険な状態のまま放置されているときは、警察に連絡するか所有者や管理者に伝えて、サクやフタなどをしてもらう。

▽とくに雨が降った後などは、川や用水堀の水位が上がっており、危険です。子供を近づけないように気をつける。

▽水辺にいるときは、子供から目をはなさないようにする。

▽子供だけで危険な水辺で遊んでいるのを見かけたときは、ひと声かけて注意し、もっと安全な場所で遊ぶようにしむける。

水辺での遊びは危険がいっぱい

夏休みを安全に

花火は使用上の注意をよく読んで!!

話題

加治木青果市場完成
小烏から移転

オープンした加治木青果市場

姶良園芸農業協同組合連合会（岸野広会長）が、木田江湖に建築中の加治木青果市場が完成し、六月三十日から開始しました。

これまでの市場は、小烏に昭和四十八年に建築され活用されていたが、加治木団地の開発に伴い新築移転したもの。

敷地は、八千八十二平方メートル、建物は、七百九十四平方メートルの鉄骨スレート建てに、卸売場、事務室、宿直室、倉庫があり十一万八千九百人分の供給対象市場となっております。

このオープンに従い取り付け道路も国道十号線から進入が出来、地区内の生産者、仲買等多くの方々が利用しています。

技能検定国家
試験に合格

昭和五十四年度後期における技能検定試験の結果、本町八人の方がめでたく合格され、この合格証書がこのほど県知事から交付されました。

これは職業訓練法に基き、国家試験として実施されているもので技能水準の向上と地域産業の発展に、大きな役割を果しております。

今後、さらに技能の向上と後継者育成にも大いに期待を申し上げます。

合格者は次のとおりです。

一　級

建築大工＝下楠薗三久（岩原西）堂森正（永原）小浜博幸（下新道）

配管（建築配管作業）＝森木茂（春日団地）

型わく施工＝服部一義（西ヒナバ）

二　級

建設機械整備＝斉藤昇（須崎）

農業機械整備＝大脇年治（今町）

配管（建築配管作業）渡辺義一（下浜）

優秀少年団員で
全国表彰

中塩入の川畑拓也君（加治木剣道スポーツ少年団）は昭和五十四年度優秀剣道少年団員として去る六月八日、鹿児島県体育館で開催された九州地区少年剣道錬成大会の席上で、全日本道場連盟から全国表彰を受けました。

川畑君は昭和五十二年から同少年団に入り特訓を重ね昨年は、郡内剣道大会で準優勝、また、水泳や陸上一〇〇㍍でも郡の記録を保持している万能選手でもあります。

この全国表彰は、県内二人の中に選ばれました。

全国表彰を受けた川畑君

町老人クラブ
ゲートボール大会

町老人クラブ（稲田進会長）主催ゲートボール大会は五月二十八日、町営運動場で開かれ、十八チーム、一二〇人が出場して盛大に行われました。

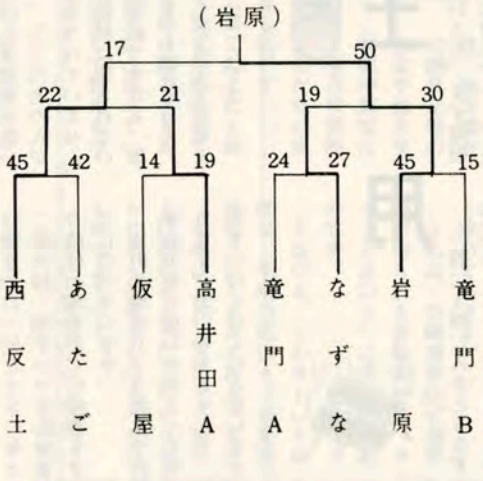
ねらいさだめて！「上がりのホール」

試合方法は敗者復活戦（トーナメント）方式で行われ決勝では、岩原チームが西反土チームを敗り優勝しました。

成績は次のとおりです。

優勝＝岩原、二位＝西反土、三位＝なずな

準々決勝成績



〝ＬＰガス消費者保安デー〟

ＬＰガスの事故防止と，正しい使用について通商産業省では毎月10日を「ＬＰガス消費者保安デー」と定めてこの運動を展開しています。

７月のテーマは「ガス漏れ警報器の設置促進，ＬＰガス設備改善の促進」です。

婦人のコーナー

七月に入ると、六月燈、ぎおん祭、花火大会とあちこちで夏ならではの行事がいっぱいです。子どもたちも待望の夏休み!!すばらしい夏休みだったと心から言える四十日間でありますように!

〝おかあさん〟もう 粉石けん使ってるの!!

婦人会や、生活学校の調査によりますと、合成洗剤に対する不安は多少なりと持ちながら、大半の主婦は洗剤を使いつづけていると言う結果がでています。

合成洗剤に含まれる成分の中には、私たちの体に害を与え、川や海を汚染するもとになるものがあることははっきりしているのですが、洗剤とせんたく機の生活に慣れっこになっている主婦は、石けんへのきりかえがむずかしいようです。よく落ちないとか、値段が高いとか、よくとけないとか…。

まだ洗剤をお使いのおかあさん一度次の事に注意して石けんを使ってみてください。

一、まず水洗いを
　汚れの半分は水にとけます。
二、できればぬるま湯で
　お風呂の残り湯など利用して
三、洗たく物は一キロ位にまとめて
四、目分量はダメ!!
　使いすぎが黄バミのもと
五、水はまわしてとく
　粉石けんを入れ、水を出す
六、泡立ちをみる
七、脱水をこまめに!!
八、すぐ干しましょう。
九、くつ下やよごれのひどいものには固型石けんの併用を!!

汚れ物はポイとせんたく機へなんて言う時代は終りました。わたしたちは、今までは便利さだけがとりえの洗剤せんたくにまどわされていたのでは?。きっと石けんを使って洗たくするうちに、そのよさがわかってくると思います。

〝合成洗剤を追放する始良地区連絡会〟も結成され、今や、婦人会、生活学校、農協、漁協、生協など多くの団体が中心になり

〝石けんを使いましょう!!
健康と海や川を守るために!!
と呼びかけています。

〝まず、わたしから
使ってみよう　粉石けん〟

結核予防

婦人会総会から

加治木保健所管内の結核予防婦人会の総会が去る六月二十四日、桜島町で開催されました。

加治木町から十三名の婦人会員が参加し、管内の現状や、結核と肺ガンについての講演、脳卒中とその予防という映画をみたりの一日でした。

町内でも七月十五日から本年度レントゲン間接撮影が開始されるわけですが、おてもとに通知書が届いているでしょうか。

県下では年々結核による死亡率り患率、有病率とも減少してきていますが、全国平均を大きく下まわり、全国最下位といった現状です。しかし加治木保健所管内の町村は成績がよく全国平均よりよい結果がでています。

また管内のレントゲンの受診率をみてみますと次のとおりです。

（54年度分）

町島名	対象者数	受診者数	受診率
加治木	6,443	5,107	79.2
姶良	11,292	9,167	81.1
蒲生	4,800	3,948	82.2
溝辺	3,778	3,235	85.6
吉田	3,396	3,081	90.7
桜島	2,500	2,480	99.2
三島	423	289	68.3
十島	675	353	52.2

本町は残念ながら、三島、十島をのぞくといちばん受診率が低いです。昨年度一、三三六名の人がレントゲン検診をうけていません。

もしこの中に結核に犯されている人がいたら伝染病ですから、誰かが感染しているかも知れません。幼児にでも感染したら……と考えただけでもこわいことです。

また、結核の予防接種が、0～3歳までに一回と小学一年と中学二年の時一回ずつツ反応検査があり陰性の場合BCG接種をするようになっています。

本町の場合0～3歳までの接種率が非常に低いのがとても気になります。若いおかあさん方、特に気をつけてほしいと思います。

生ゴミは水切りを良くして燃えやすいようにしましょう!!

歳時記

土用

「土用」というと、まず連想するのは、夏の暑さ。そして丑（うし）の日のうなぎ。

ところが実際には、「土用」は春夏秋冬にそれぞれ一回、年に四回あります。春の土用は立夏の前の十八日間、以下同じように、夏は立秋の、秋は立冬の、冬は立春の前十八日間となっており、その初めの日を「土用の入り」といいます。

それが、いつの間にか、夏の土用ばかりが知られるようになり、衣類を虫干しする土用干しとか、土用波とかいうのも、すべて夏の土用のことになってしまいました。

今年の夏の丑の日は、七月二十七日の日曜日です。この日に夏やせ防止にと、うなぎのかば焼きを食べる習慣があるのは、ご存じの通りです。

一般に土用に入るとうなぎの売れゆきはウナギ上りにあがりピークはもちろん丑の日。うなぎ屋さんは、夜の明けぬうちからかば焼きをつくる作業に追われるということです。

土用の丑の日が、年によって一度だったり二度だったりするのは、土用が十八日間あり、それに十二支を割りふるので、二回の場合もでてくるからです。

土用の丑の日には、うなぎばかりでなく、地方によっては、「う」のつくもの、たとえば、うめぼし、うどん、うし肉、うりなどを食べると暑気あたりを防げるといわれているようです。

いずれにしても、この時期はもっとも暑さがこたえるときですから、スタミナのつく食事を十分にとって夏を乗り切る体力をつけましょう。

食うか食われるかの死闘

伝統行事 〝くも合戦〟

まばたき一つせず身を乗り出す観客

本町名物行事の一つ〝くも合戦〟が本年も町観光協会主催で六月八日、町福祉センターで行われ、珍しい合戦を一目見ようと、町内外から集った約千人の観客でにぎわいました。

このくも合戦は、今から三百八十余年前、島津義弘公が朝鮮役の陣中で兵士たちの無聊を慰めかたがた、その士気を鼓舞するため黄金グモを集めて闘争させたとの言い伝えにちなんで、義弘公の城下である本町で毎年、旧暦の端午の節句に近い日曜日に行われるようになったものです。

出場者は大人二十八人、小人二十六人、計五十四人で闘うクモは百六十二匹。

午前九時の開会に始まり、まず優良グモの選考が行われた。これは、体のしまり具合や、まだら模様の光沢など審査され「ミスヤマコツ」三匹が選ばれた。つづいてかみしも姿の竹内親男審判長から競技上の注意があり、大人の部、小人の部三箇所に別れ、いよいよ試合開始。「見合って見合って、さあ、ノコッタ、ノコッタ」と掛け声に一本の横棒を戦場に、食うか、食われるかの必死の闘いが続く。観客、行司共にまばたき一つせず、無言の闘士に身を乗りだす。勝負は、クモの糸をかけたもの、咬みついたもの、振り落したもの、糸を切って横棒から落したものが勝ちとなるが、くもの持ち主は「それっ、いまじゃ、かんちけ、やった、やった」と所かまわず大きな声をとばす。こうして四時間にわたり大人の部、小人の部の熱戦が続き、優勝が決まった。

成績は次のとおり。

▽優良グモ

①北森清春（小陣）②竹内敬一郎（今町）③浜田重治（小陣）

▽合　戦

大人の部

㊙入部力（中浜）②浜田耕（小陣）③池田秋義（上浜）

小人の部

㊙上薗広子（小陣）②有馬逸也（国分市）③浜田聖子（始良町）

▽王　将

大人の部

㊙長谷正治（天神）②入部貢（川内市）

小人の部

㊙立山まみ（春日団地）②本馬場正（小陣）

竜門の会

梅雨深し人無き刻も花時計　井之上透山

麦秋や夫の体調定まりぬ　古江　重美

幼な名ではじまる弔辞梅雨の午後　川崎　黒兎

この庭にすぎたるものの牡丹かな　横山　江南

母に買ふ服ゆるやかに更衣　能勢真砂子

運転手の一人に小さき扇風機　鶴田　耕

紺碧の水面や白鳥二羽睦み　上野　光

草むしる手に響きたる梅の音　高木　正男

藷植うる岬小雨に昏れなずむ　加藤　白柳

衣更へてなほ物忘れつのらする　三浦　ゆう

吹上の松の疎林やぐみの花　宮脇　思川

葉蔭出て風に煽られ梅雨の蝶　大迫　すみ

町民みんなで時間を守りましょう！「時間を大切に」

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中町福祉センターで受けています。

試験案内

宅地建物取引主任者資格試験

▽試験期日　十月十九日

▽試験場

第一会場　鹿児島市立城西中学校

第二会場　県立短期大学（鹿児島市）

▽受験案内等について

受験案内及び受験申込書用紙は八月十八日から九月五日まで、県庁建築課、県の各土木事務所で交付します。

▽受験申込書受付期日、場所

県下全域の申込者

九月一日から五日まで

自治会館（鹿児島市）

▽問い合わせ先

詳細については、県庁建築課（鹿児島市山下町14の50電話〇九九二㉖八一一一内線三一〇一）へお問い合わせください。

町営プールを開放

7月21日～8月31日

町民の健康づくり、体力づくりのために、ことしも町営プール（加治木中学校第二グラウンド内）を開放いたします。

○**開放の期間**
七月二十一日から八月三十一日まで

○**利用できない日**
(1)毎週金曜日（7月25日、8月1、8、22、29日）
(2)お盆期間（8月13～16日まで）

○**開放時間**
(1)中学生女子十五時～十六時
男子十六時～十七時
(2)高校・一般十七時～十八時

○**留意事項**
(1)流行性の疾患の人は利用できません。
(2)万一の事故には応急措置しかできませんので、体の調子の悪いときは利用しないように。
(3)監視人の指示には必ず従ってください。

社会福祉総合調査に協力を

県と市町村では、各福祉関係団体の協力のもとに、社会福祉総合調査を実施することにいたしました。皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

この調査は県並びに市町村が、今後の社会福祉の水準を高めていくための基礎資料を得るため、ほぼ五年おきに実施する調査で、県内の全世帯に調査票を配布して行います。

調査票では、お年寄りや心身に障害のある方、あるいは母子世帯など福祉の対象となる人々の人数や施設入所希望などについて、お答えいただくことにしています。世帯の秘密については、県統計調査条例に基づき固く守ることになっていますので安心してお答えくださるようお願いいたします。

なお調査員（民生委員）が各世帯に調査票を配布し、回収することになっておりますが、予定時期は次のとおりです。

各世帯への調査票配布時期
七月二十五日頃から八月五日頃まで

各世帯からの調査票回収時期
八月六日頃から八月十五日頃まで

簡保資金 写真コンクール作品募集

郵便局では、第十二回簡保資金写真コンクール作品を次のとおり募集しています。

▽**内　容**
簡保資金でつくられた施設を題材とした明るい作品「学校、公営住宅、道路、港湾、公民館、公園等を対象としたもの。」

▽**作品の大きさ**
カラーはスライド三十五ミリ以上、白黒は四つ切り（単、組写真いずれも可）

▽**応募細則**
○未発表の作品に限ります。
○画題、簡保資金融資施設名、住所、氏名をカラースライドはそのマウンドに、白黒は作品裏面に記入
○応募はカラー、白黒それぞれ五点以内、組写真ほ一組三枚以内

▽**賞**
推せん一点五万円、特選二点三万円、入選五点一万円、佳作四十点五千円、にそれぞれ盾、応募者全員に粗品

▽**作品の受付**
郵便局の簡易保険窓口

▽**締切日**　七月三十一日

うぶ声

五月二十一日から六月二十日受付分

出生者	保護者	
原口拓人	謹郎	部落
増田　精	秋美	高井田
大迫智恵	義一	西江口団地
脇田佑一郎	瑞穂	弥勒
野元政春	義春	蔵王
野上理加	琇次	上浜
山本裕美	和幸	春日団地
東川内雄飛	真	今町
宮脇あゆみ	竹夫	空港団地
宮地圭介	秀雄	春日団地
日高なつき	正年	須崎
川田将士	伸幸	東塩入
竹之内正和	一吉	新富団地
鬼丸英之	嘉典	高井田
梅北朋美	利文	南塩入
西世里子	猛志	萩原
宮内淳子	光昭	東諏訪
宮園祐子	孝行	春日団地
澤田智和	修二	楠園
枦山祐一	健二	江湖
北園夏奈	輝美	蔵王団地
日高政彦	政光	西塩入中
神園直樹	進	東諏訪
		辺川中

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　姶良町　村田恵子（平原好子55）
二万円　溝辺町　二見隆志（重志　）
十万円　西塩入上松永愛子（緑87）
二万円　曲田　岩崎　要（ギン86）
二万円　中塩入　藤井フミ（清73）
二万円　須崎　今井トヨ（安之59）
一万円　高井田　立山マスエ（林キミ86）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　西塩入上松永愛子（緑87）

▽…六月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

第11回 竜門祭

とき　8月9日(土)6：30
ところ　竜門中グラウンド
主催　竜門青年会

今月は、国民健康保険税二期の納期です。